

はなはな議だり



令和5年度予算	2
特別会計・主要施策	4
条例・議決・補正予算	5
陳情・意見書・賛否分かれる	6
16人が一般質問	7

高架下のスケボーパーク!
去年はアーバンスポーツの
イベント「橋コン」も開催され大盛況!
子どもから大人までが楽しめる
カルチャースポットが南風原にはある!!

令和5年
3月定例会

沖縄県
南風原町議会

題字：KEITA HEIANZA
写真：ZENTA HESHIKI
スケーター：AKINORI JAHANA

NO. 221

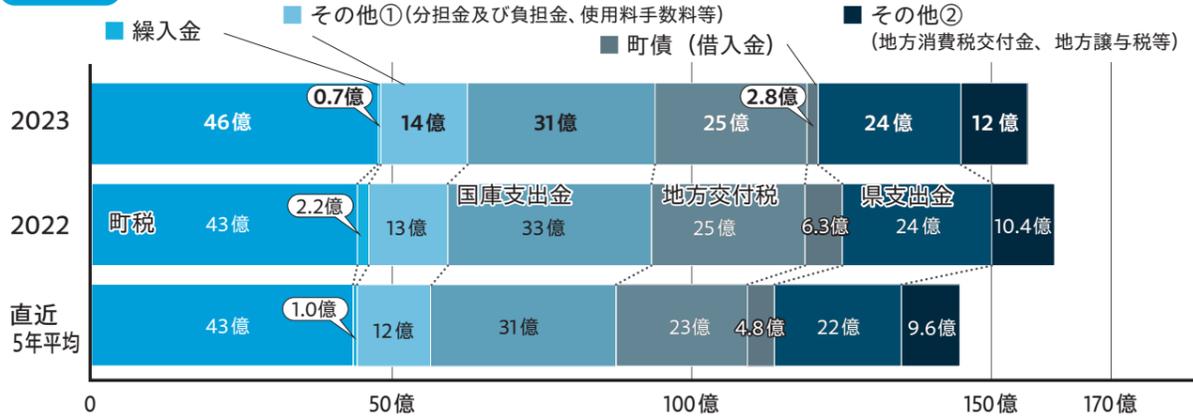
令和5年5月26日発行





グラフと表でみる 歳入・歳出の推移

歳入



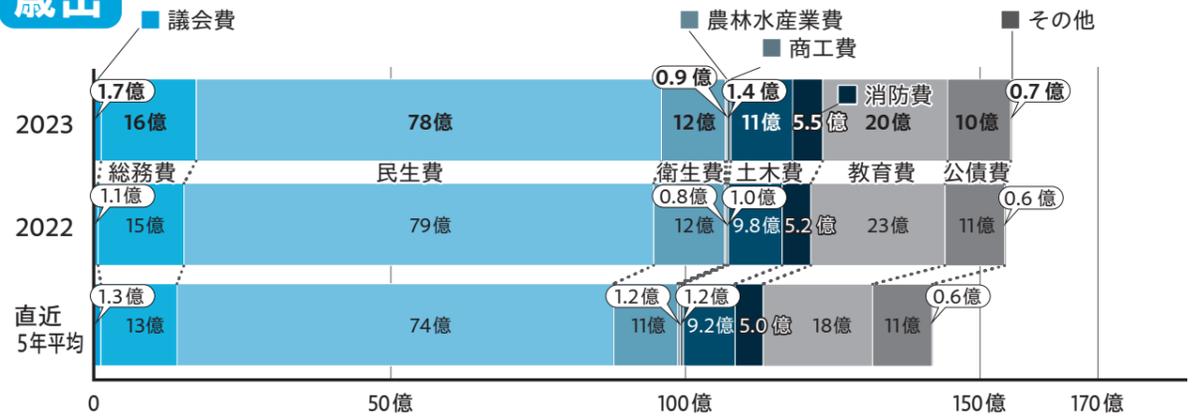
- 町税**：みなさまからの税金
- 歳入金**：町の貯金を下ろして使う金額
- 国・県支出金**：使う目的が決まっている国や県からの補助金
- 地方交付税**：自治体運営の均衡を保つため国から配分される金額
- 町債**：町の借金

項目	トレンド	2019	2020	2021	2022	2023
町税		41億	42億	42億	43億	46億
歳入金		1.0億	0.7億	0.5億	2.2億	0.7億
その他①		11億	11億	12億	13億	14億
国庫支出金		27億	29億	34億	33億	31億
地方交付税		21億	21億	20億	25億	25億
町債(借入金)		3.8億	3.4億	7.9億	6.3億	2.8億
県支出金		18億	21億	22億	24億	24億
その他②		8.0億	9.0億	8.9億	10.4億	12億

その他①は分担金及び負担金、使用料手数料等。その他②は地方消費税交付金、地方譲与税等。

町税収納率	トレンド	2017	2018	2019	2020	2021
町税収納率		98.90%	99.30%	99.40%	99.40%	99.50%

歳出



- 総務費**：職員人事や役場全体の管理
- 民生費**：お年寄りや児童福祉、保育所運営
- 衛生費**：ごみ処理や予防接種
- 商工費**：商工業や観光振興
- 土木費**：道路や河川、公園の整備
- 消防費**：東部消防への負担金
- 教育費**：幼稚園・小中学校教育や生涯学習
- 公債費**：借金(町債)の返済

項目	トレンド	2019	2020	2021	2022	2023
議会費		1.2億	1.2億	1.2億	1.1億	1.7億
総務費		11億	12億	13億	15億	16億
民生費		68億	70億	76億	79億	78億
衛生費		9.6億	9.7億	12億	12億	12億
農林水産業費		1.0億	2.2億	1.0億	0.8億	0.9億
商工費		1.2億	1.2億	1.2億	1.0億	1.4億
土木費		9.3億	7.8億	8.3億	9.8億	11億
消防費		4.5億	4.8億	4.9億	5.2億	5.5億
教育費		15億	16億	18億	23億	20億
公債費		11億	11億	11億	11億	10億
その他		0.5億	0.5億	0.6億	0.6億	0.7億

一般会計予算158億円 特別会計・企業会計 総額226億円

第三次財政健全化計画期間終了 縮減予算の見直しも

3月定例会

3月2日(木)から3月28日(火)まで27日間の会期で開かれました。令和5年度予算を中心に審議し、5会計及び条例改正も含め(P5)全ての議案を可決しました。一般質問は3日間にわたり16名の議員が質問しました。

魅力あるまちづくりを目指す予算編成

令和5年度は、第三次財政健全化計画期間終了後、初めての予算編成となった。計画の影響で縮減していた予算の見直しも行われ、各種団体への補助金や自治会委託料を含む46項目が見直された。◇議会だよりも、ページ数を24頁へ増加。

会計	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
一般会計	158億4028万円	158億1556万円	2472万円	0.2%
特別会計				
国民健康保険	46億4617万円	42億3019万円	4億1598万円	9.8%
後期高齢者医療事業	3億8437万円	3億3853万円	4584万円	13.5%
土地区画整理事業	6億7065万円	5億7708万円	9357万円	16.29%
下水道事業(企業会計)	10億6058万円	6億3029万円	4億3029万円	68.3%
合計	226億205万円	215億9165万円	10億1040万円	4.7%

令和5年度 いま、町の財政は？ 一般会計 + 特別会計 + 企業会計

- 令和5年度の当初予算総額は… 226億205万円 (町民一人あたり55万9千円)
- 令和5年度沖縄振興特別推進交付金(一括交付金)の交付額は… 3億5,218万円
- 令和5年度の町債・企業債(借金)は… 合計 5億9,770万円
 - 一般会計……………2億8,380万円
 - 土地区画整理事業…1,800万円
 - 下水道事業……………2億9,590万円

※人口4万440人(令和5年3月末現在)



暮らしに身近な予算 みんなのお金の使いみち

下水道事業 事業費 3億362万円



令和5年度から令和9年度にかけ交付金を活用し照屋、喜屋武、本部地区の下水道整備工事を下流側から実施する。

特定健診で500円のお米券 事業費 120万円

特定健診の受診率向上に向けTポイントの付与から500円のお米券に変わります。



保育所運営事業 事業費 3億2151万円

3月9日現在、待機児童数は32名。



待機児童解決に向け

地域子育て支援拠点事業 事業費 2519万円

地域子育て支援拠点を1施設増設。保育士を配置し、相談等の対応を拡充。(与那覇第2保育園 つばみの広場)



条例の改正で何が変わるの？

職員定数増 219人から250人

町の人口増加や多様化、高度化する行政サービスに応じた機構改革の推進するための改正。3年から5年かけて31人増の250人となります。しかし、職員1人あたりの人口は類似団体と比較しても依然として最多である。

議委員報酬 23年ぶりの引上げ

議長 30万円 → 35万円
副議長 25万円 → 29万円
委員長 24万2千円 → 27万2千円
議員 23万3千円 → 26万3千円

[改正の主な理由]

- 平成12年度から改正がない。
- 平成18年度に定数を6名減して16名となったが人口は9400人増加しており議員一人当たり人口も増。
- 類似、近隣自治体より低額である。
- 議員活動、責務に見合った報酬。

定年年齢が段階的に65歳に

地方公務員法の改正により定年年齢引上げを令和5年4月から段階的に上げられ、令和13年度以降から65歳となります。

出産育児一時金 50万円に引き上げ

法律改正に伴う、国民健康保険条例の改正により出産育児一時金等の総額が令和5年4月1日より42万円から50万円に引き上げられました。



《窓口》
国保年金課(保険給付班) TEL : (098) 889-1798

(区長) 自治会事務委託料 事業費 4827万円

令和2年度より据置きだった事務委託料を令和5年1月末の世帯数で積算しました。今回の見直しにより全自治体の委託料は、総額400万円の増額となります。

事務割額 計算方法 (円)

	事務割額	
	1自治会あたり	1世帯あたり
300世帯以上	105,000	140
101~299世帯	60,000	140
100世帯未満	45,000	140

町ホームページをリニューアル LINE機能の拡充 事業費 2188万円

プロジェクトチームを立ち上げ次年度より公開予定。LINE機能を拡充し登録数の増加を図る。



公式LINE
QRコード



(仮称) 南風原町民体育館 事業費 992万円

令和5年度に都市計画区域の変更、農業振興地域からの除外、土質調査や測量等を行います。



産業 地域ブランドの構築 事業費 1781万円

販路開拓等に向け専門家の意見を取り入れ販売力向上に繋げる。(東京ギフトショー)



一般質問

町に考えを聞く

QRコードから各議員の議会中継が視聴できます。一般質問記事は質問議員が会議録から抜粋し、広報委員会によって編集されています。

【一般質問とは】

一般質問とは、議員が、町の一般事務に対してその執行の状況又は将来の方針、政策的提言や行政の課題などを執行部に直接質問することです。また、執行部の所見や施策について報告や所見を求めるものです。

質問事項	質問議員	頁	頁	質問議員	質問事項
全ての自治会に青年会を結成せよ <ul style="list-style-type: none"> 行政DXの推進体制を整備せよ 具体的な人口政策に取り組み 		9 照屋仁士	8 赤嶺奈津江		医療費窓口無料化の現状は <ul style="list-style-type: none"> 学び直しのリカレント教育、リスキリングのサポート強化を 災害時の対策について(他2件)
照屋給油所前の信号機設置を問う <ul style="list-style-type: none"> 防災公園の整備を 南星中学校のハブ対策ネットを 児童生徒の不登校対策を問う 		11 大城重太	10 大城勇太		南部農林高等学校までの道路整備を <ul style="list-style-type: none"> 来年度における待機児童について 保護司会との連携強化について
町道73号線擁壁の排水について問う <ul style="list-style-type: none"> 若者就業支援プログラム補助金を活用できないか ベチパーの有効活用について問う 		13 大城雅史	12 知念富信		桁下公園の見直しを <ul style="list-style-type: none"> 南風原バイパスを問う 電光掲示板の復旧を
児童生徒に関わる方に知識を周知せよ <ul style="list-style-type: none"> 子育て世代に対し、町ならではの支援策はあるか 女性について町独自の支援策はあるか 		15 伊佐園恵	14 浦崎みゆき		コミュニティースクール導入の早期実現を <ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者に支援策を求む 骨髄移植ドナー登録助成制度について 野焼きの対策について問う
美らへちまについて伺う <ul style="list-style-type: none"> 中学校部活動指導員と外部指導者について 兼本ハイツの道路環境について 		17 西銘多紀子	16 金城憲治		本町はかすり資料館の構想はあるか <ul style="list-style-type: none"> 本町のスケートパークについて 本町の防災対策について 学校活動以外の派遣について
安保3文書に対する町長の見解を問う <ul style="list-style-type: none"> 国保税について 本町の地域防災計画について インボイスについて 		19 當眞嗣春	18 新垣善之		学校教育と福祉教育の融合を <ul style="list-style-type: none"> 子どもの健やかな成長のために 社会教育の充実を 財政健全化計画の総括を問う
労働者協同組合法について <ul style="list-style-type: none"> 遺伝子組み換え作物について 不登校児童生徒について 待機児童について(他6件) 		21 大宜見洋文	20 岡崎晋		事務委託料の世帯別単価を見直せ <ul style="list-style-type: none"> 各自治会内の街灯について 国民健康保険税と後期高齢者医療保険料について
マネジメント強化で行政の高度化を <ul style="list-style-type: none"> 協働のまちづくりの取組を問う 住民との協同で、社会教育行政の今後の果たすべき役割を問う 		23 玉城陽平	22 石垣大志		観光振興及び産業振興について問う <ul style="list-style-type: none"> 道路空間のオープン化について問う

医療費窓口無料化 (現物給付)の現状は



赤嶺 奈津江 議員

答 重度心身障害者、母子父子医療は、現物給付とはなっていない



問 重度心身障害者(児)医療助成事業、母子及び父子家庭等医療費助成事業について子ども医療費と一緒に現物給付を目指すことを本町は目標としてきた。現在どうなっているか。
町長 現在現物給付とはなっていない。

問 本町では、高校3年生までの医療費無料化がスタートしたが、母子父子医療の部分について、高校3年生までの対応がどうなっているか。
こども課長 18歳以下までの医療の対象者については、こども医療費の医療券を渡しており、こども医療費の現物給付で対応している。

問 重心と母子父子の点については条例、また窓口も違う。2つの医療費窓口無料化のOKが出ないと聞いている。現在の県の対応、状況はどうなっているか。
民生部長 2つの医療費助成については現物給付とはなっ

ていない。しかし、県の担当部署から、今こういう状況でこの医療費助成をしているか、少しずつ市町村に対して要望等の調査がある。引き続き、この2つの医療費助成も是非現物給付にできるような、毎年要望している。



お問合せはこちら→

学び直しのサポート体制構築・強化を

問 コロナ禍において高校・大学中退をする子どもが多くなつたとの情報もある。またこれまでも家庭環境や様々な理由で学びをあきらめたり、リタ

イヤする方もいた。是非サポートする体制、システムをつくってほしいがどうか。
教育長 受験のサポート窓口については、県立学校教育課が高校中退者の窓口として、大学中退者についてはその大学がその窓口を設けている。相談があった場合は各窓口につなげていけるような情報共有を図っていく。

問 リカレント教育やリスキリングを奨励する企業へのサポート体制を整え、情報や奨学金などで「支える」体制を強化してほしいがどうか。

町長 リカレント教育等の労働者や事業主等への支援として、国の様々な給付金や助成金がある。その情報発信に努めていく。

一こんな質問もしました
 ・那覇空港道路桁下活用について。
 ・災害時の対応について。
 ・津嘉山公園及び津嘉山区画整理事業の早期完成を。

全ての自治会に 青年会を結成せよ



答 結成に向けて指導、支援していきたい

問 地域活動の核となる組織、団体を支援せよ。それぞれの社会教育団体が果たす役割を、行政はどう認識しているか。
教育長 社会の要請に応え、町づくりに参加している。

問 私は社会教育団体が衰退、もしくは機能が停滞すれば、行政が果たす役割自体が逆に増えていく、そう考えるがどうか。
生涯学習文化課長 その場合、行政の果たす役割、必要性が高まる。

問 社会教育団体への補助金、また支援強化を行政が行って

いく、そのこと自体が行政自身の業務を第三者である社会教育団体に担っていただく、業務の効率化にもつながり、より町民に身近で細かなサービスの提供につながると考えるがどうか。
生涯学習文化課長 必ずしもつながるものではない。

問 私の言った考え方を否定するということか。
生涯学習文化課長 否定するものではない。

問 分かりやすい目標が必要だ、全ての自治会に青年会を結成せよ。

生涯学習文化課長 町が直接結成させることは難しい。



南風原の村遊び(国立劇場)

問 まずは全ての自治会に青年会を結成するという目標を行政が示すことで、青年、女性、PTA、子供たち、老人、そういった全ての団体に思いが波及していく、私はそう思う。是非取り組んでほしい、目指してほしいがどうか。

生涯学習文化課長 結成に向けての指導、アドバイスを通じて支援していきたい。

行政DX、
推進体制を整備せよ

問 行政DX、推進体制を整備せよ。行政DXは町民に説明が難しい。是非、取組状況を知らせる、アウトプットしてほしい。それが伝わるかも大きな指標になる。私が研修に行った日野町では、具体的なプロジェクト一覧がある。約20余の項目があり、分野ごとに整理されている。南風原町にもこんな一覧表、体系、体制、具体的な取組を示すものがあるか。今後作成し町民の皆さんに示してほしいがどうか。
町長 資料のような一覧表は現在作成していない。今後参考にさせていたきたい。

—こんな質問もしました—

• 具体的な人口政策に取り組み

南部農林高校までの道路整備を

答 令和5年度から造成工事を行う



問 津嘉山十字路から南部農林高校までの道路の整備状況を伺う。

町長 ご指摘の箇所については令和5年度から造成工事を行い、引き続き道路整備工事を行う。

問 津嘉山十字路から津嘉山南十字路までの道路拡幅工事についての状況を伺う。



津嘉山十字路から南部農林への道路

町長 沖縄県に対し要請を続けているが、現時点で事業化のめどはまだないと聞く。引き続き早期事業化に向けて要請を行う。

問 バス会社が公募しているネーミングライツを活用して、国道507号のバス停屋根設置ができないか。

都市整備課長 ネーミングライツを活用し、近隣の企業側から取り組みがなされるような状況であれば、バス協会を通してそういったものを活用すべきだと、町としても考えている。

児童館を学童活用へ

問 学童の待機児童を伺う。

こども課長 令和5年度入所の待機児童は、同3月20日時点で61名である。

問 児童館を活用した学童保育ができないか。

こども課長 ゼロ歳から18歳までの児童について、その保護者も交えて自由の入館が可能というような位置づけで、特に放課後においての利活用が行われていることから、学童に特化した活用のほうは現在検討はしていない。



大城 勇太 議員

保護司会との連携強化を

問 経済的に困窮する若年者等の就業に必要な資格、免許等の取得費用の助成ができないか。

町長 保護観察対象者における生活困窮者支援に関しては、今後調査を行う。

問 沖縄市では、生活保護世帯の方が就業するための免許、様々な就職に役立つ11種類の資格取得費用を全額補助している。若者就業支援プログラムを南風原町でも取り組むことができないか。

総務課長 本町では、相談がある場合にはハローワークでの就労支援を紹介するような形にはなっている。ただ大きなことだと考えており、先進地の事例等を調査研究させていただきながら、本町で取り組める支援制度がないのかを検討していきたい。

照屋給油所前の 信号機設置を問う



大城 重太 議員

答 以前から与那原警察署に
要請している



問 照屋給油所前の信号機設置を要望しているがどのような状況か。

総務課長 以前から与那原警察署に要請している。去る10月4日に再度要請している。

問 平成24年から要請を行っているようだが、一向に設置される様子はない。この10年間でだいぶ状況も変わったと思うが、最近の照屋給油所前の状況は把握しているか。

総務課長 与那原警察署に確認したところ、交通量については、定期的な交通量の調査等は行っていないようだが把握できていない。事故件数については、令和2年は人身事故0件、物損事故2件。令和3年は人身事故0件、物損事故0件。令和4年は人身事故1件、物損事故0件だった。

問 それ以外にもヒヤリとする情報が寄せられていて、数字以上に危険な場所だと認識しているが、一向に信号機が

設置されない理由は何か。

総務課長 与那原警察署も、当該箇所が信号機設置の基準を満たしているということだった。ただ、県内全市町村の要請を取りまとめ、特に危険な場所からの設置ということで、10年以上たった今でも設置がされていない状況である。

問 照屋地区区画整理事業が進み、工事車両が増えてからではなく、その前に手を打てないかと考えている。要請する場合にそこも盛り込んで訴えてほしいがどうか。

総務課長 事故が起きてからでは遅いので、危険な状況なども踏まえて要請文には加えていきたい。



要請箇所

防災公園の整備を！

問 防災公園の整備を求め、公園の機能に災害時に対応できる設備はあるか。

副町長 公園については、災害時の指定緊急避難場所として指定しており、身の安全を守る場所として重要な施設になる。また、黄金森公園の多目的広場・健康遊具広場にハイブリッド照明を設置、津嘉山公園や町民広場には給水栓を設置しており、被災者への給水場所としての機能を有している。

問 比較的大きめの公園に標準設備として、かまどベンチ・防災トイレを設置してはどうか。

総務課長 地域防災計画で示している指定緊急避難所の公園について、どこに整備をしたほうが効果的か検討したい。

こんな質問もしました

- 南星中学校にハブ対策ネットを。
- 児童生徒の不登校対策を問う。

桁下公園の見直しを

答 公園施設長寿命化計画で整備を予定している



知念 富信 議員



問 桁下公園の見直しを求め、スケートボード場を初心者用、上級者用として整備し、県内大会を開催できる施設にできないか。

副町長 長寿命化計画の中で現在の施設で中級者用の整備を予定している。

町長 スケートボード場は設置から18年経過している。コンテスト大会も開催され大盛況だった。現段階では今の中級者用を修繕して新しくする。初心者用、上級者用に関しては、長寿命化計画の中で検討する。

問 バスケケット場が2面あり、一カ所が使用不能、もう一面の床は剥がれている状況である。ドリームコート内のベンチ等も破損があるが整備できないか。

副町長 長寿命化計画を令和5年度に予定している。その中で優先順位を付けて順次整備を行う。

問 ドッグランの場所が町内

になく、桁下公園の一角で登録犬による公園として整備できないか。

又、町内で登録されている犬の頭数を伺う。

副町長 花・水・緑の大回廊公園の工事再開予定の令和8年度以降に検討する。

町内で登録されている犬の頭数は1,210頭である。



スケートボード場

南風原バイパスを問う

問 南風原バイパスの新川から宮平区間の完成年度と全区間の完成年度を問う。

副町長 南部国道事務所から完

成年度は未定との回答である。令和5年度の計画は改良工事、橋梁上部工の工事を行う。

問 南風原バイパスの桁下公園計画はあるか。

副町長 都市計画マスタープランの基本方針で公園等として有効利用に努める事になっているので、花・水・緑の大回廊公園の整備状況を踏まえて検討する。

電光掲示板の復旧を

問 兼城十字路の電光掲示板の故障原因を問う。

副町長 電源及び基板等の電気系統の老朽化が故障の原因である。

問 電光掲示板の高さを上げて新たに設置できないか。

副町長 電光掲示板の設置は多額の予算が必要な為、民間事業者による企業広告板の活用を含め運用再開に向けて検討する。

町道73号線擁壁の排水について問う

答 現場調査を行い、早急に対処する



問 町道73号線の擁壁の排水について雨天時に大量の雨水があり、隣接農地においては常にぬかるんだ状態で野菜が育てられないということの相談があった。現状を確認し、対処できないか。

副町長 現場調査を行い、現状を確認している。早急に対処する。

問 工事期間中に排水の件について説明したが改善されておらず、当時の状況を問う。

副町長 当時の状況を確認したところ、アスファルト舗装工事前の段階で路盤より水が浸透しており、アスファルト

舗装することにより、水抜き溝からの水量が減るものと思われ土のう設置で対応を行ったという経緯がある。

問 工事内容について何う。

都市整備課長 水抜き溝から出てきたところのコンクリート部分に縁石等を設置し、所々に浸透枡を設置していきたいと考えている。

若者就業支援プログラムを

問 沖縄産業開発青年協会と提携し「若者就業支援プログラム」の補助金などを活用で

きないか。

副町長 若者就業支援プログラム補助金の活用の可能性について、今後調査を行う。



大城 雅史 議員

問 若者の仕事については定着率が悪く、なかなか仕事が続かないという声が聞こえている。そこで就職を考えている方について建設作業や農作業に必要な11種類の資格が取得できる沖縄産業開発青年協会と連携し、一部費用の負担が出来ないか。

産業振興課長 今把握している範囲で、沖縄市、うるま市の方が既に実施している。そちらの状況、そして活用できる有効な

財源、またその補助率を調査した上で予算化できるものか判断していく必要がある。

ベチバーの有効活用を

問 イネ科の多年生草木ベチバーの有効活用について問う。

副町長 ベチバーについては畑の土の流出防止及び防風効果があり、水やり、施肥の必要がなく、成長し刈り取ったものは敷き草として有効利用されている。



イネ科の多年草ベチバー

問 JAと連携し補助金等の活用はできないか。

副町長 NPO法人沖縄グリーンネットワークが実施する補助事業の活用に向け、JAと連携し取り組む。

コミュニティ・スクール 導入の早期実現を

答 導入に向けて前向きに検討を行っている



浦崎 みゆき 議員

と考える。

問 コミュニティ・スクール導入の早期実現を求める。6年間各議員がこの質問を行っているが進まないのは何故か。

町長 学校と地域、社会教育、校長先生方の意見も取り入れながら進めていきたい。町としての方針も出しながら次年度また一歩一歩進めていきたいと考えている。

問 事例では、学校運営協議会としての権限よりも、地域の方が学校に入って支援をすることに意義を感じている。権限は町の規則や条例などで柔軟に取り入れる事は可能か。

町長 柔軟に対応できるもの



文部科学省HPより

問 最初から全校では無く一つの学校から始める形で取り組めないか。

町長 導入に向けて前向きに検討を行っている。1校や2校からは可能と考える。南風原町に合った形を加えながら推進したいと考える。

骨髄移植ドナー助成制度の導入を

問 骨髄移植ドナー助成制度の目的と内容はどのようなものか。

町長 骨髄バンク事業は、骨髄移植などが必要な患者と、そ

れを提供するドナーをつなぐ公的事業であり、広く一般の方からドナーを募る事業である。

問 水泳の池江璃花子さんが、2019年に急性リンパ性白血病と診断され、19年夏に造血細胞移植を行ったところ、翌年3月にはプールに入れるようになった。東京オリンピックにも出場した。本町に骨髄移植ドナー助成制度の導入をすべきと考えるがどうか。

町長 1人でも多くの方がドナー登録に協力できるよう、今後検討する。

問 ドナーの方は1週間休むこととなる。補助は幾らになるか。

町長 1日2万円当たり7日間の10万円が上限額になり本人個人に助成する額となる。

こんな質問もしました

- 野焼きの対策強化を。
- 生活困窮者に支援策を求む。



児童生徒に関わる方に 知識を周知せよ



伊佐 園恵 議員

答 環境づくりをおこなう

問 児童生徒に関わる方々全て、教育委員会、部活指導員等に教育知識を周知せよ。
教育長 講演会や研修会等の機会ごとに情報を周知する。

問 部活地域移行は、生徒の73%が聞いたことがない。ハラスメント等、目を背けないでほしいと子どもたちからの訴えがある。周知を行ってほしいがどうか。
学校教育課長 部活動の地域移行も含め、体罰等、子どもたち自身も理解できるような環境づくりを行う。

子育て世代に町ならではの策はあるか

問 子育て世代に、町ならではの策として、休日、児童館の利用は可能であるか。
副町長 休日の開所は様々な面から検討が必要である。

問 子ども達のあそび場確保の為、児童館の活用を検討し

てほしいがどうか。
民生部長 全体的な視点で考え、新たな活用については検討していく。

問 津嘉山ビッグの裏切りで予定されている公園を着工せよ。
副町長 インフラ整備を行い、当該公園整備はその後になる。

女性について

町独自の支援策はあるか

問 町独自の策で、命育の充実をはかってほしいがどうか。
副町長 今後の動向を注視していく。

問 「ノー」「ストップ」「ヘルプ」も大切な言葉だと教えないといけない。学校と親がそれを知り、子どもに伝える必要があると考えるがどうか。
国保年金課長 今後調査研究し、広報したほうがいいものは広報していく。

報していく。

問 女性に多いコロナ後遺症の一つ、ME^(※)を知っているか問う。
副町長 知っている。

問 ナイチンゲールが37歳から90代まで、MEの症状で寝たきりで過ごした。5月12日の誕生日がMEの啓発日。対処療法の一つ、Bスポット治療を、知っているか。
国保年金課長 県内の医療機関で行えると知っている。

(※) MEとは筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群

—こんな質問もしました

- 黄金森陸上トラックの安全確保を問う。
- エコな町への仕組みづくりに取り組んでほしいがどうか。



かすり資料館等の構想はあるか



金城 憲治 議員

答 かすり資料館等の構想はない



問 かすり資料館等の構想はあるか。絣の貴重な資料や反物など、後世に伝えたいといけない貴重な絣を常時展示できる施設などが必要ではないか。

産業振興課長 かすり資料館等の構想はない。観光客の皆様には、まずかすり会館の展示ホールを有効に活用しながらの対応を考えている。

問 琉球絣と南風原花織後継者育成事業の研修内容はどういったものか。

産業振興課長 琉球絣後継者事業の内容は、琉球絣の従事者に必要な総合的知識と製織技術の習得を目的とする。講師4名の指導の下、約150日間にわたり実施する。

南風原花織後継者育成事業については、南風原花織の製作にあたり、全行程の技術、技法を研修する。総合的知識と技術の習得を目的に講師3名指導の下、約7カ月にわたり、週2、3回の研修を実施して

いる。



後継者育成事業の様子

本町のスケートパークについて何う

問 本町のスケートボード場を生かしたイベント等の計画はあるか。

教育長 花・水・緑の大回廊公園のスケートボード場での南風原町主催の年間イベント計画はないが、過去にイベント企画会社主催のイベントを実施している。

問 イベント企画会社が主催

したイベントが何回行われたか。

教育総務課長 令和4年度に実施した「橋コン」1回を確認している。

問 東京オリンピックから、アーバンスポーツということが言われている。アーバンスポーツパークを目指して、再整備をしてはどうか。

今アーバンツーリズムと云われ、色々な大会を開催することで様々な方が来る。そこに地域の活性化や振興といったことが図れると言われ、アーバンスポーツパークを目指して、運営を民間に任せるとか、民間を活用しながら検討できないか。

都市整備課長 アーバンスポーツ協会なども参考に、検討していく。

—こんな質問もしました

- 本町の災害対策について。
- 学校教育活動以外の派遣について。

美らへちマについて伺う



答 消費拡大に期待が高まっている

問 美らへちマについて伺う。
副町長 美らへちマは加熱しても変色せず同じサイズで安定して生産できるということで、へちマの消費拡大に期待が高まっている。

問 へちマは栄養素として、ビタミン、ミネラルをバランスよく含んでいる。葉酸、ビタミンKも多い。ビタミンの不足しがちな妊婦や高齢者にも最適な食べ物であり、全世界へ好まれる食材である。効能としても高血圧予防、肥満防止、アンチエイジング、腸環境改善、貧血予防などが挙げられる。

この南風原町が誇るへちマに関して、今まで特化してへちマのみで予算策定したことはあるか。

産業振興課長 本町では土づくりに奨励補助等、様々な農業へ対応した補助を行っているが、へちマのみを対象とした補助はない。

問 へちマのデメリットであった部分を沖縄県が10年かけ研究し払拭した。本町でしかできない研究や加工開発があると考えます。

へちマの栄養素や効能を生かして町民の健康課題にどう働きかけるのか研究を行ったり、



西銘 多紀子 議員

介護食、ダイエット食、災害食に加工をしたり抗炎症作用のあるへちマで、化粧品などの開発をしてもいいのではないかと。それが本町を盛り上げる原動力になると考える。

へちマの研究・加工開発などの今後の取り組みを伺う。
産業振興課長 農産物の加工、開発に関する補助等に関し令和5年度から沖縄県で新たに始まる補助等で該当するものがないか、今後説明会等がある。



一定サイズの美らへちマ

るため、情報収集に努めていく。

中学校部活指導員と外部指導者について伺う

問 現在の状況はどうなっているか。

教育長 令和4年度は、部活動指導員4名、外部指導員28名を委嘱している。

問 今後の計画はどのようなになっているか。

教育長 令和5年度は23名の部活動指導員を予定している。今後は、令和7年度末を目標に、全部活動で休日における部活動指導員の活用を推進する。また、外部指導者の活用も中学校と連携し推進していく。

— こんな質問もしました —

• 兼本ハイツの道路環境について。



学校教育と地域福祉の融合を

答 有意義であると考え

問 学校教育と地域福祉を融合することによって、重層的支援体制が確立できると考えるが見解を伺う。

教育長 有意義であると考え

問 子どもの多種多様な課題解決に向けて、SSW(スクールソーシャルワーカー)を正規に採用してはどうか。

教育長 SSWの正規採用については、先進自治体等の事例を調査研究していく。現在は、各小中学校に1名の教育相談員を配置している。

問 SSWの職責は何か。

学校教育課長 町内のSSWは1名で、沖縄県より配置されている。学校だけでは対応できない家庭支援等が必要な部分を、先生や教育相談員等と連携しながら家庭の支援に努めている。

問 SSWが単年度雇用だと、家庭の実態を把握するだけで精一杯である。正規雇用することによって、家庭の課題や状況を中・長期的に各機関と連携し、課題解決できるのではないか。

学校教育課長 現在も各機関と連携し、各種委員会が主催となり、サポート会議を開き課



新垣 善之 議員

題解決に向けて取り組んでいる。SSWの正規採用については、調査研究していく。



社協(上)と南風原中学校(下)

地域福祉の向上に向けて

問 CSW(コミュニティ・

ソーシャルワーカー)を正規採用してはどうか。
町長 正規採用については、社協の運営全体を踏まえ検討していく。

問 SSWと同様に、CSWも正規化することによって、地域の課題、ケースワークや会議に諮ることで重層的な支援が展開できるのではないかと、町の人口も増となっている。福祉サービスの向上のために、社協への人的・予算の投入を考えるべきではないか。

民生部長 CSWは、各小中学校区に2名ずつ(計8名)配置している。他市町村に比べ、とても充実している。社協全体の事業運営の中で、必要な予算を確保し、一緒に取り組んでいく。

—こんな質問もしました—

- 防災計画を着実に実行せよ。
- 社会教育の充実を。
- 財政健全化計画の総括を問う。

安保3文書に対する 町長の見解を問う



當眞 嗣春 議員

答 国の安全保障に関する
重要な文書であると認識している



問 1915年の安保法制で「戦争できる国」から安保3文書で「戦争する国」へと大きく変貌した。

那覇の陸上自衛隊の師団化、司令部の地下化、自衛隊那覇病院の地下化、沖縄市の自衛隊弾薬庫の新設、与那国の電子部隊新設、新たなミサイル部隊の用地取得など、「ここ沖縄で戦争します」と言うようなものではないか。アメリカに追随し、この時とばかりに、「沖縄」を差し出す。まさに、令和の「捨て石」にされようとしている。

本町として、「安保3文書」の撤回を求める。町長の見解を問う。

副町長 国の安全保障に関する重要な文書であると認識している。国を守るために、必要な施設や環境の整備を行うことは必要と考える。ただし、平和の実現のためには、武力ではなく、外交努力によって安全を保障することが優先であると考えている。

問 「命どう宝」、平和を願う先人たちの思いを引き継ぎ、未来を生きる子供や孫たちのために、よりよい未来を創造するために、沖縄を二度と戦場にさせないという、町長の決意を伺う。

町長 二度と沖縄を戦場にしてはいけない。それは、沖縄県民すべての考え方と認識している。南風原町として、平和行政、平和学習、平和教育、国際交流を推進しながら、まちづくりを進めていく。

**国保水準の統一について
本町の対応を問う**

問 国保の都道府県単位化は、国保の構造的問題を解決するどころか、逆に国保税引き上げに他ならない。協力・加担してはならないと考えるがどうか。

国保年金課長 国は被保険者への急激な負担増を防ぐために、激変緩和措置を示した。適正な標準保険税率に向けた取り

組みである。

問 「急激な負担増を防ぐため」との答弁だが結局、負担することに変わりはない。2018年の制度再編、国保の都道府県単位化の目的・狙いはなにか。

民生部長 全世代対応型の社会保障制度の構築と見直しである。

—こんな質問もしました

- 当町の地域防災計画について。
- インボイスについて。



憲法九条の碑と平和の鐘

事務委託料の 世帯別単価を見直せ

答 自治会と協議しながら検討したい



岡崎 晋 議員

問 自治会に委託している事務は幾つか。事務委託料は何年間据え置かれ、世帯割額単価の140円はいつからか。
総務課長 委託している事務は21項目で、委託料は4年間据置いた。単価は平成17年度から変わらない。

問 マンションと戸建の単価が同額だが、戸建ては見直してもらいたいがどうか。
総務課長 今後、必要に応じて自治会と協議しながら検討していきたい。



多種多様、大量の掲示物

各自治会の公衆街路灯
について問う

問 街灯はそこに住む住民だけの為ではない。加入率が減り続ける自治会の街灯電気料負担は厳しく、実態調査をしてほしいがどうか。
まちづくり振興課長 自治会に現状周知も兼ねて実態調査を検討したい。

問 ワット数毎に課金料が違うが、十分に明るい低ワット数の電球に替えるため、一括交付金だけでなく環境省の補助金等を活用してほしいがどうか。
まちづくり振興課長 新しい事業が活用できるか、自治会の負担軽減のため引き続き努力が必要と考える。

問 免許保持者が自前で低ワット数の電球に換えても、工事会社作成の申請書がないと沖縄電力は課金は正に同じず、交換後も従前の高いままの自治会がある。この是正のため、行政は支援できないか。
まちづくり振興課長 基本的に自治会の責任(発注)で取替え

るべきものと考えます。灯具が修繕に至るといった状況であれば修繕事項として、町の補助金を活用して是正できると認識している。

国保保険税と後期高齢者医療保険料を問う

問 国民健康保険税の見直しで一人平均何%幾ら上がるか。
国保年金課長 一人平均10.5%、1万407円増となる。世帯毎の所得に応じて2割・5割・7割の軽減があり、全体の63%がこの軽減措置を受ける。未就学児にも軽減措置がある。今年度は後期高齢者医療保険料の見直しはない。

問 これ迄の一般会計からの補填額はいくらか。
国保年金課長 高齢者医療制度開始の平成20年から15年間で31億6千万円を補填した。令和5年度も約2億4千万円の補填を見込んでいます。

労働者協同組合法 について問う

答 調査研究は行っていません



問 昨年施行の労働者協同組合法を調査研究しているか。

副町長 行っていません。

問 自治会を支える組織、コミュニティビジネスとして有効との先進事例が開始している。本町の所管はどの課か。

副町長 産業振興課である。

問 先進地域では、地域住民が自ら出資し、コミュニティビジネスを展開して、自治会の支援サポート活動につながっている。本町の自治会役員の成り手不足解消や、新規会員の掘り起こしにもつながるのではないか。

産業振興課長 県労働政策課から、ポスターの掲示等広報を依頼されている。

問 働く人たちで経営方針を話し合い、仕事内容や給料を決める働き方で、社会保険も適用される。中には正社員並みの給料を実現したり、売り上げを大幅に回復できた仕事もあり、世界で約30カ国に広がり、第3の働き方と言われている。是非、本町の自治会加入率の向上、地域のつながりの再構築、この制度の調査研究を続けてほしいがどうか。

産業振興課長 区長会に限定した説明ではなくて、ホーム



大宜見 洋文 議員

ページ等で広報し、相談があれば相談窓口等を案内する。



ワーカーズコープ

不登校児童生徒 について問う

問 本町の不登校児童生徒数を伺う。

教育長 令和5年1月末時点

町立小中学校における30日以上長期欠席している児童生徒は小学校で54名、中学校で114名である。

問 不登校に至る要因は何か。

教育長 長期欠席している児童生徒の要因は、欠席者数のうち、小学校は不安等を理由としたもの、家庭に関するものとなっている。また、中学校では不安等を理由としたもの、体調不良等も含めたその他が多くなっている。

問 不登校特例校とは何か。

教育長 学習指導要領の内容などに捉われず、不登校の状態にある児童生徒の実態に配慮した、特別な教育課程を編成することができる、文部科学省が指定した学校である。

問 本町にも設置可能か。

教育長 設置は可能だが、教職員の確保や、施設面、様々なものを整備する必要がある。沖縄県の動向を注視していく。

観光振興及び産業振興を問う

答 事例等を収集し、調査研究していく



石垣 大志 議員

問 本町の観光振興及び産業振興について伺う。国道高架下空間の有効活用に関し、今後南風原バイパスや南部東道路等の新たな道路が増えてくる中で、高架下空間の有効活用は、新たな魅力を引き出す効果があると考えますが本町の見解を伺う。

副町長 南風原バイパス等の進捗状況を踏まえ検討していく。

問 南風原バイパス、南部東道路の桁下について公園以外の活用も検討はできるか。

まちづくり振興課長 占用の一定条件を満たすのであれば、

検討は出来る。南部東道路については、現在設計段階であり、既存の公園整備も踏まえ、検討する。

問 色々な選択肢を持って観光振興に取り組んでほしい。東京都の小金井市では、JR中央線の桁下を活用し、テナスを並べ、様々なテナントを募集し、飲食店やコンビニ、雑貨屋等、多様な商業地域をつくり出している。南部東道路や、南風原バイパスに関しても、テナントを設置し、町内の事業者のブースを設け、貸付けを行う事は可能か伺う。

まちづくり振興課長 本町の関

連する事業については国道と県で整備が進められている。これまでの占用条件としては、公共性とか公益性が伴うものに限ると聞いている。

道路空間のオープン化について問う

問 道路空間のオープン化への取り組みは、本町の観光振興にもつながると考えるが、見解を伺う。

まちづくり振興課長 道路空間のオープン化へ向けての取り組みとして、全国的に事例が多数ある。幹線道路の沿道等で飲食店が立ち並び、テラス

席やイベント広場等として活用され、にぎわいや住民の交流の場を含め、観光振興を目的として取り組みられている。事例等を収集し、調査研究をしていく。

問 道路の歩道空間に飲食店のテラス席があつて、それがずらっと並んでいる。そのようににぎわいのある町を作ってほしい。この道路空間のオープン化への取り組みを県道241号線に活用できるか。

まちづくり振興課長 県の管轄になるが道路管理者と協議し、取り組む。



高架下店舗リニューアル後の神戸市サンキタ通り

マネジメント強化で行政の高度化を

答 職員全体で改革を進めていく



玉城 陽平 議員

問 多様な人材の活用で組織力の向上につなげてほしいが、どう考えるか。

町長 これまでの職員派遣に加え、今後は国・県への派遣、民間との交流も検討する。

問 目標管理マネジメントが重要である。体系化を目指し、人材育成を進めるべきと考えるがどうか。

町長 PDCAを進め、人事評価にもつなげている。職員全体で改革を進めていく。

問 ロジックモデル活用で事業マネジメントを強化すべきと考える。DXによるデータ活用で行政の高度化を図ってほしいがどうか。

町長 事業の目的・効果・結果を把握しやすく、できるところから導入し、検討する。DX推進ともつなげる。

問 人材マネジメントには、職員のキャリア、組織貢献、取り組みの見える化が必要で、

ここのDXも必要だがどうか。
町長 各部署と人事の連携、トップのコミットが重要である。見える化は全体ではまだ不十分である。検討し良い形にしていく。

協働のまちづくりの推進を

問 協働のまちづくりを進めたい。地域活動の情報集約、発信強化が必要だがどうか。

町長 企画財政課を窓口として、先進事例を見ながら本町にあった形を考えたい。

社会教育専門職の配置強化を

問 協働の観点から、多様な主体との連携について社会教育の取組みを問う。

教育長 地域課題解決の学習を連携して行った。民間との積極的な連携も進めたい。

問 現状の取り組みが届かな

い層への打ち手の策定、既存の活動の発信強化が必要ではないか。

教育長 今後も調査研究して、取り組んでいく。

問 専門職育成のために職員の社会教育主事講習の受講を増やしてほしい。司書の正規化、人員の拡充を求めたいがどうか。

教育長 受講できるよう検討する。図書館の人材確保も努力する。



問 図書館はまちづくりの知の拠点として重要で、首長部局との連携も強めていくべきだがどうか。

町長 今後の連携のあり方を調査し、検討していく。

受賞

南風原町功労・善行賞及び 沖縄一・日本一表彰式



南風原町功労・善行賞及び沖縄一・日本一表彰式が令和5年3月30日に開催され、6名の前議員の皆様が授章されました。

※功労表彰:町議会議員の職にあつて12年以上の在籍の者

(左から)

金城好春 (20年在籍)	玉城 勇 (22年在籍)
宮城寛諄 (32年在籍)	大城 毅 (24年在籍)
大城真孝 (32年在籍)	宮城清政 (17年在籍)



体験の風を起こそう

ボーイスカウト南風原第一団 宮城 弘子

「おいしい、すごくおいしい！」収穫したばかりの焼きジャガイモに「ホクホクしてね」「薪の香りもいいね」と保護者も大満足です。
さて、3月のボーイスカウト活動は11月に植え付けたジャガイモを収穫し、焼きジャガ

イモを作るプログラムを行いました。小学5年生以下の子どもたちがジャガイモを掘り小学6年生・中学生のボーイ隊が畑の薪を集めファイヤースターターを使って火を起こします。大人は見守りに徹します。「そろそろ焼けたかな？」

ボーイ隊のリーダーシップで美味しく焼きあがり片付けまじつかり出来ました。焦げ焦げはご愛敬です。子ども達が張り切つて動く姿に1年の成長を感じました。大人も子どももワクワクする体験ができる南風原町であつてほしい。

表紙の題字・写真をお寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか。表紙の題字と写真を募集中です。のびやかな題字や笑顔あふれるお写真をお待ちしています。

議会だよりへのご意見・ご感想も受け付けています。

連絡先：議会事務局 TEL.889-3097 FAX. 889-4499
E-Mail H8893097@town.haebaru.okinawa.jp



左のQRコードを読み取ることで議会中継サイトに繋がります。



はえばる議会だよりのバックナンバー

次回定例会の開会予定
6月6日(火) 午前10:00

編集後記

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が、季節性インフルエンザと同類へ引き下げられた。経済や学校、地域や文化的活動が元の様式に戻る。マスクを外すことで、給食や行事、各種イベントなど、表情・表現力を豊かにコミュニケーションを交わす賑わいを取り戻したい。

3年間の財政健全化計画を終え、国保特別会計の累積赤字を解消し、財政調整基金も目標額以上に確保できた。今年度から各種団体への補助金も必要な予算を配分し、元通りの運営が期待される。子育て環境では、出産育児一時金が50万円へ増額、地域子育て支援拠点の増設、高校卒業までの医療費助成など充実した支援体制が期待される。
今年度も健康で豊かな生活を基に、皆様の活躍を祈念したい。

(担当/広報委員 新垣善之)